

都市再生整備計画 事後評価シート
弘明寺・蒔田駅周辺地区

平成24年3月

神奈川県横浜市

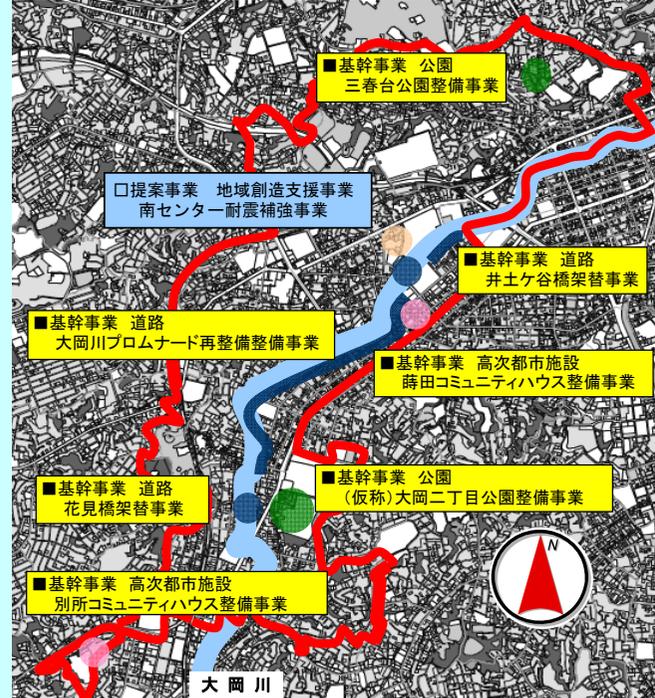
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	弘明寺・蒔田駅周辺地区			面積	355ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	3,651百万円	国費率	43%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	【道路】大岡川プロムナード再整備事業、井土ヶ谷橋架替事業、花見橋架替事業 【公園】(仮称)大岡二丁目公園整備事業 【高次都市施設】別所コミュニティハウス整備事業、蒔田コミュニティハウス整備事業									
			提案事業	【地域創造支援事業】南センター耐震補強事業									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	【道路】井土ヶ谷第298号線(当初計画名井土ヶ谷第480号線)拡幅事業			【道路】南区庁舎移転先の変更に伴い事業中止のため削除			事業削除により目標に影響があるが、据え置く。			
	新たに追加した事業		提案事業	-			-			-			
基幹事業			【公園】三春台公園整備事業			【公園】防災機能の向上を図るため事業を追加			事業追加により目標にプラスの影響があるが、据え置く。				
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	桜まつり来場者数	千人	150	H18年度	160	H23年度		150	△	あり なし	主催者発表の数値では目標値は達成できなかったが、以前よりも活気が増した。	平成26年5月
	指標2	公園面積確保率	%	4.7	H18年度	5.3	H23年度		5.3	○	あり なし	地域住民の憩いの場の提供及び防災機能が向上した。	平成24年5月
	指標3	区民利用施設の利用者数	千人/年	226	H17年度	250	H23年度		316	○	あり なし	施設整備により、地域住民の交流や活動の場が増加し、数値目標が達成できた。	平成25年5月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
その他の数値指標1													
<p>4)定性的な効果発現状況</p> <p>■大岡川プロムナードの再整備により、桜の季節以外でも地域住民の関心が高まり、落ち葉清掃に取り組む人が以前より増えるなどの効果がみられ、活力あるまちづくりを進めることができた。</p> <p>■大規模震災時には大岡川を越えた横浜市立商業高校を災害対策本部の代替施設、南センターを区役所の代替施設とすることが業務継続計画(BCP)上で定められている。しかしながら、当該事業の実施前は南センターの耐震補強がなされていなかったため、区役所通常業務の継続が困難であることが予想されていたが、耐震補強により、そのリスクが減少した。区役所から代替施設への移動は、井土ヶ谷橋の利用が想定されるため、橋梁の架替事業により、より確実に代替施設へ移動することが期待できる</p> <p>■南区は早くから市街化され、防災上の課題となる住宅密集地が多いことから、南関東大地震が発生した際の焼失棟数が2300棟(横浜市全体の被害の1/3)と想定されている。そのため、区内の公園面積の確保は急務であるが、(仮称)大岡二丁目公園と三春台公園の拡張工事により避難地が増え、災害に強いまちづくりを進めることが出来た。三春台公園は地域住民のいっとき避難場所として、東日本大震災の際にも、実際に活用された。</p> <p>■区内の中心を大岡川が流れているため、橋梁の架替事業と、架替にあわせて行われた橋梁への歩道の新設・拡幅により、災害発生時における住民の円滑な避難経路の確保が期待できる。</p>													
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス		(仮称)大岡二丁目公園意見交換会、三春台公園意見交換会、別所コミュニティハウス建設委員会、蒔田コミュニティハウス建設委員会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				整備後は「地域のことは地域で担い、地域で相談しながら決めていく」体制づくりを行う。				
	持続的なまちづくり体制の構築		(仮称)大岡二丁目公園管理運営委員会、(仮称)大岡二丁目公園愛護会、三春台公園愛護会、南区さくらボランティアの会(ハマロードサポーター)、蒔田コミュニティハウス運営委員会、別所コミュニティハウス運営委員会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				行政として、住民が主体となった維持管理活動や管理運営に必要な支援を引き続き行う。				

様式2-2 地区の概要

弘明寺・蒔田駅周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
地域資源である桜並木の保全や公共施設の整備、防災機能の強化などの施策を総合的に推進することにより、大岡川プロムナードを軸とした区中心部において、災害に強い活力あるまちづくりを目指します。	桜まつり来場者数	単位:千人	150 H18	160 H23	150 H23
	公園面積確保率	単位:%	4.7 H18	5.3 H23	5.3 H23
	区民利用施設利用者数	単位:千人/年	226 H17	250 H23	316 H23
	さくらボランティア加入者数	単位:人	31 H18	45 H23	47 H23



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ■大岡川プロムナードの不陸が解消され、歩行者の安全性や利便性が向上したが、左岸など再整備未着手の区間には不陸が残る。また、区の花「さくら」の保全を通じ、郷土意識の醸成にもつながったが、引き続き、桜の成長に合わせた維持管理の必要がある。 ■老朽化した橋梁の架替により、健全な道路機能を果たすことができ、歩道を拡幅することで、歩行者の利便性も向上した。また耐震性能についても最新の指針を満たすものとなった。 ■公園を整備することにより、地域住民の憩いの場の提供や、防災機能の向上につながった。地域住民の防災に対する意識も向上し、地域主体の防災イベント等でも活用されている。 ■コミュニティハウスの整備により、施設を利用した地域住民による交流や活動が促進された。 ■総合的に公共施設等の整備を行ったことで、地域全体の活性化を図ることが出来た。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■公共施設の耐震性能を維持するため、一定の年数が経過した時点で耐震診断等を実施する。 ■橋梁の安全性の維持のため、定期的な点検、補修を行う。 ■地域住民の自主的な活動と相互交流を通じて地域コミュニティを形成する場として、コミュニティハウスを運営するため、地域ニーズを適切に把握し、自主事業等を実施する。 ■大岡川プロムナードの桜並木は街路樹維持業務委託により定期的な剪定作業等維持管理を行う。また、引き続き、再整備工事をを行い、不陸の補修と不健全な桜の更新を実施する。 ■地域と行政との良好なパートナーシップを継続し、環境保全活動の継続と定着を図るため、地域主体の活動やイベント開催に対し、行政として協力・支援を引き続き行う。

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
弘明寺・蒔田駅周辺地区

平成27年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	桜まつり来場者数	千人	150	150	確定 見込み	●	△	あり なし	●	150	H26年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	主催者発表の数値では目標値は達成できなかったが、以前よりも活気が増した。
指標2	公園面積確保率	%	4.70	5.30	5.30	確定 見込み	●	○	あり なし	5.30	H24年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域住民の憩いの場の提供及び防災機能が向上した。
指標3	区民利用施設の利用者数	千人/年	226	250	316	確定 見込み	●	○	あり なし	333	H25年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設整備により、地域住民の交流や活動の場が増加し、数値目標が達成できた。
指標4	南区さくらボランティア加入者数	人	31	45	47	確定 見込み	●	○	あり なし	50	H24年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	区民の桜保全への理解が深まり、数値目標が達成できた。
指標5					確定 見込み			あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1					確定 見込み						H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み						H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み						H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-②に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	公共施設の耐震性能の維持	南センターの耐震補強工事を実施した。	耐震性能の確保が図られた。	
	橋梁の健全性の確保	平成26年度に橋梁の初期点検を実施した(井土ヶ谷橋)。 平成29年度に橋梁の初期点検を実施予定(花見橋)。	初期点検の結果、健全性は確保されている(井土ヶ谷橋)。	定期的な橋梁の点検を実施し(5年毎)、異常等が発見された場合速やかに補修等を実施していく。
	整備されたコミュニティハウスの運営	利用者会議(月1回程度)や利用者アンケートの実施、また第3者評価も受診し運営に活かした。	地域住民や利用者ニーズの的確な把握と反映ができ、運営についての検証ができたことで、利用者が順調に増えた。	さらに利用者数を増やすため、各館の指定管理者と協議し自主事業の充実など魅力を高めていくことを考える。
	大岡川プロムナードや公園などの良好な環境の維持	南区さくらボランティアの会が、桜並木の見守り活動や、落ち葉清掃等に取り組んでいる。また、地域住民による公園愛護会が結成され、清掃・除草・花壇づくり等を行っている。	南区さくらボランティアの会、公園愛護会の協力により、良好な環境の維持が継続している。	南区さくらボランティアの会、公園愛護会のメンバーの高齢化が進む中、次世代へとつなげる取り組みが必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	大岡川プロムナードの左岸等の不陸	左岸における大岡川プロムナード再整備事業を継続した。	根上がり対策工および透水性アスファルト舗装工の施工により、不陸は改善され、良好な歩行者空間を確保している。	隣接区まで連続した大岡川プロムナードを構築するために、再整備工事の継続が必要である。
	大岡川プロムナードの桜の維持管理	街路樹維持業務委託による定期的な維持管理および、再整備工事による不健全な桜を更新した。	定期的な剪定等により、桜の良好な状態を保っている。再整備工事による桜の更新を実施し、桜並木の継続性を保っている。	再整備済区間における、病害等による不健全な桜の更新が必要である。

事後評価シート 添付様式5-②から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
大岡川プロムナードの桜の更新	再整備済み区間における大岡川プロムナードの桜並木の景観を保つため、病害等により伐採した桜を順次更新していく。	H26年3月	桜を更新するためには、根上り対策および舗装打替え等の歩道整備もあわせて行う必要がある。

都市再生整備計画(清算報告)

ぐみょうじ まいたえきしゅうへんちく
弘明寺・蒔田駅周辺地区

かながわけんよこはまし
神奈川県横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力向上による活性化を図る事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡川プロムナード再整備事業 ・(仮称)大岡二丁目公園整備事業 ・(仮称)蒔田コミュニティハウス整備事業 ・(仮称)別所コミュニティハウス整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・防災機能の向上を図る事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)大岡二丁目公園整備事業 ・三春台公園 ・井土ヶ谷橋架替事業 ・花見橋架替事業 ・南センター耐震補強工事
<ul style="list-style-type: none"> ・ 	
<p>その他</p> <p>なお、(仮称)大岡二丁目公園については、災害時の火災の延焼を防ぐなどの防災機能の向上を図る事業として位置づける。</p>	

